

## 舞鶴市内の中小企業景況調査のまとめ

今期 令和3年 7月 ～ 9月期の実績

来期 令和3年 10月 ～ 12月期の見通

舞鶴商工会議所  
中小企業相談所

この調査は、令和3年9月に実施した7月～9月の中小企業景況調査に係わるアンケート（毎四半期実施）の結果をまとめたもので、今回の調査対象は市内の中小企業123事業所（前回123事業所）、有効回答数は100事業所（前回98事業所）で回収率81.3%（前回79.7%）でした。

業種別有効回答企業数は次のとおりです。

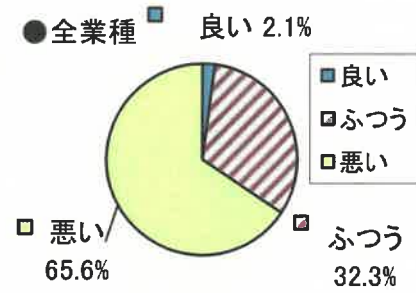
業 種	回答企業数	構成比 (%)
機 械 金 属 業	15	15.0
建 設 業	17	17.0
織 維 工 業	3	3.0
木 材 業	6	6.0
水 産 加 工 業	6	6.0
サ ー ビ ス 業	23	23.0
小 売 業	14	14.0
卸 売 業	16	16.0
合 計	100	100

(注) 本文のDIとは「増加」「好転」したとする企業割合から「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

## 【業況の動向】

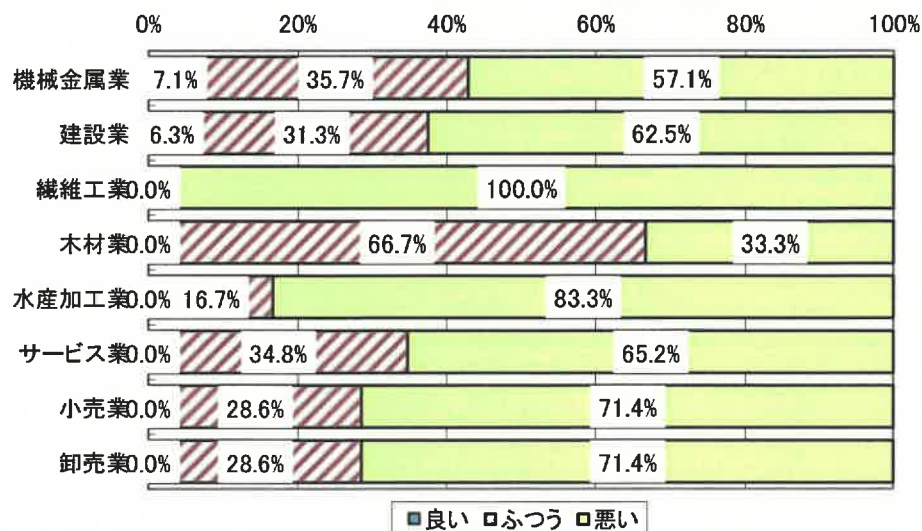
今期の業況の動向は、全業種でマイナス63.5となり、前期のマイナス56.4と比べて7.1ポイント悪化。一方で来期は、前年同期比でマイナス39.6となり、今期比でマイナス27.6となる見込み。

業種別に見ると、木材業、水産加工業は改善。（木材業は2期連続で改善）一方で、機械金属業、建設業、繊維工業、サービス業、小売業、卸売業は悪化した。（建設業、卸売業は2期連続で悪化）



業況DI(「良い」-「悪い」)

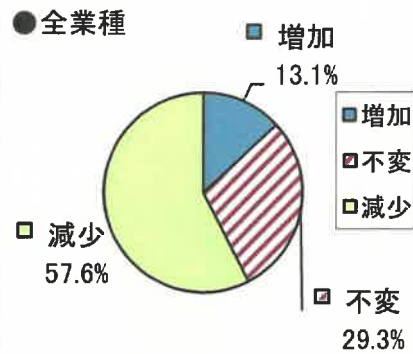
	実績 (今期の水準)					来期見通し (前年同期比)	来期見通し (今期比)
	令和2年 7月～9月	令和2年 10月～12月	令和3年 1月～3月	令和3年 4月～6月	令和3年 7月～9月	令和3年 10月～12月	令和3年 10月～12月
全業種	-56.1	-46.2	-57.9	-56.4	-63.5	-39.6	-27.6
機械金属業	-38.5	-58.3	-46.2	-36.4	-50.0	-14.3	7.7
建設業	-18.8	-40.0	-29.4	-35.7	-56.3	-50.0	-6.3
繊維工業	-100.0	-100.0	-66.7	-33.3	-100.0	-66.7	-50.0
木材業	-66.7	-50.0	-80.0	-66.7	-33.3	-20.0	-16.7
水産加工業	-83.3	0.0	-100.0	-100.0	-83.3	-50.0	-50.0
サービス業	-68.0	-62.5	-72.0	-62.5	-65.2	-47.4	-52.6
小売業	-50.0	-20.0	-64.3	-60.0	-71.4	-46.2	-41.7
卸売業	-73.3	-46.2	-46.2	-60.0	-71.4	-33.3	-30.8



## 【売上額の動向】

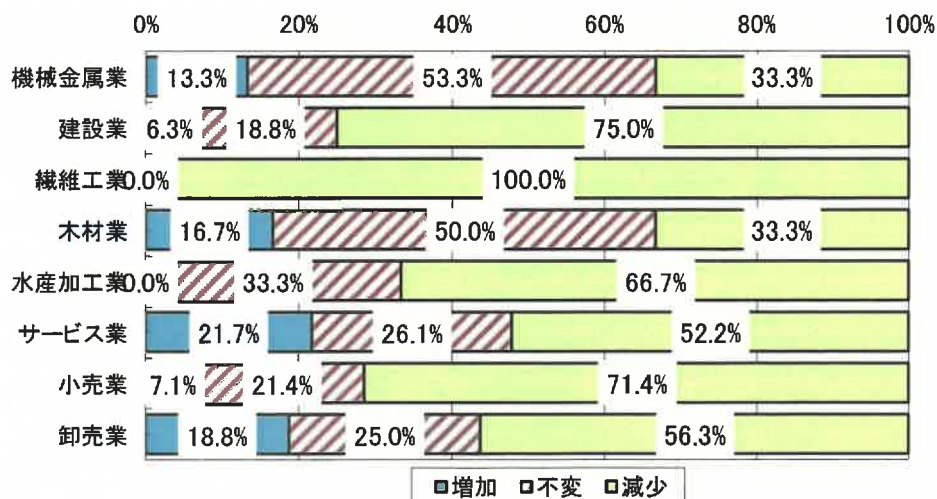
前年同期と比べた今期の売上額の動向は、全業種でマイナス44.4となり、前期のマイナス48.0に比べ3.6ポイント改善した。一方、来期はマイナス32.0となる見込み。

業種別に見ると、機械金属業、水産加工業、サービス業、卸売業は改善。（サービス業は3期連続、機械金属業は2期連続で改善）木材業は横ばいで推移。一方で、建設業、繊維工業、小売業は悪化した。（建設業は2期連続で悪化）



売上額DI(「増加」-「減少」)

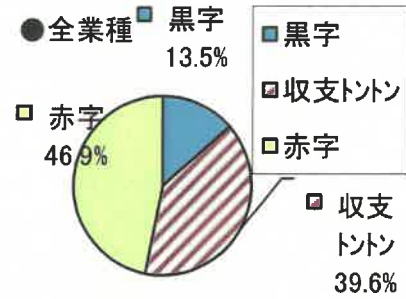
	実 績 (前年同期比)					来期見通し (前年同期比)
	令和2年 7月~9月	令和2年 10月~12月	令和3年 1月~3月	令和3年 4月~6月	令和3年 7月~9月	令和3年 10月~12月
全業種	-59.4	-51.6	-56.8	-48.0	-44.4	-32.0
機械金属業	-45.4	-38.5	-76.9	-58.3	-20.0	0.0
建設業	-35.3	-46.7	-18.8	-37.5	-68.8	-35.3
繊維工業	-100.0	-100.0	-66.7	33.3	-100.0	-33.3
木材業	-66.7	-50.0	-60.0	-16.7	-16.7	-16.7
水産加工業	-83.3	-40.0	-80.0	-83.3	-66.7	-50.0
サービス業	-75.0	-84.0	-68.0	-56.0	-30.4	-34.8
小売業	-50.0	-26.7	-64.3	-53.3	-64.3	-50.0
卸売業	-60.0	-30.8	-42.9	-46.7	-37.5	-37.5



## 【採算(経常利益)の動向】

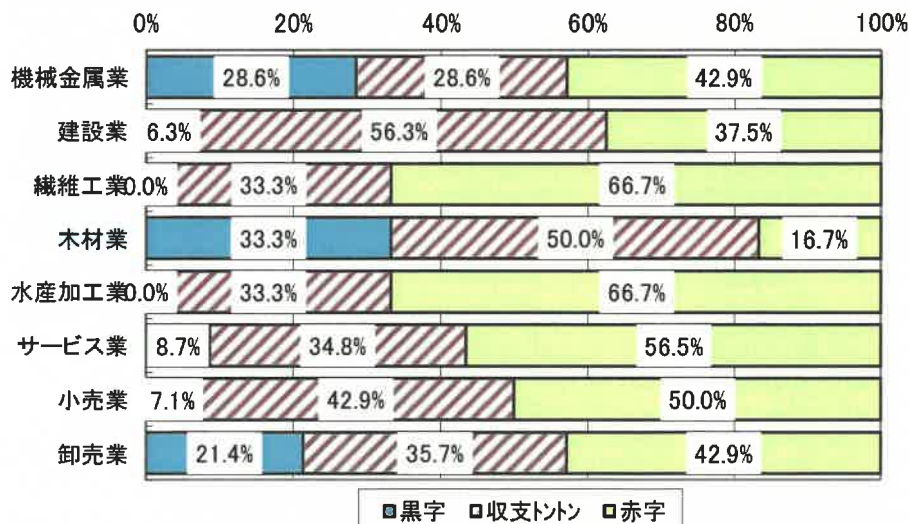
今期の採算(経常利益)の動向は、全業種でマイナス33.3となり、前期のマイナス32.0より1.3ポイント悪化した。一方、来期はマイナス40.6となる見込み。

業種別に見ると、機械金属業、木材業、水産加工業、卸売業は改善した。一方で、建設業、繊維工業、サービス業、小売業は悪化した。(サービス業は3期、建設業は2期連続悪化)



採算(経常利益)DI(「黒字」-「赤字」)

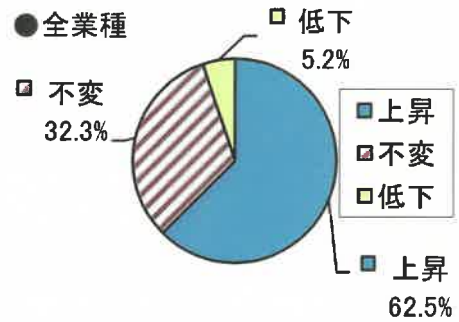
	実績 (今期の水準)					来期見通し (前年同期比)
	令和2年		令和3年		令和3年	令和3年
	7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月
全業種	-38.8	-17.0	-27.2	-32.0	-33.3	-40.6
機械金属業	-38.5	-23.1	-23.1	-33.3	-14.3	-21.4
建設業	-23.5	-6.7	-6.7	-18.8	-31.3	-41.2
繊維工業	-100.0	-100.0	-33.3	-33.3	-66.7	-66.7
木材業	-16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	-83.3
水産加工業	-50.0	0.0	-80.0	-83.3	-66.7	-50.0
サービス業	-36.0	-20.8	-37.5	-40.0	-47.8	-43.5
小売業	-42.9	-13.3	-21.4	-13.3	-42.9	-35.7
卸売業	-50.0	-23.1	-30.8	-42.9	-21.4	-30.8



## 【材料仕入単価の動向】

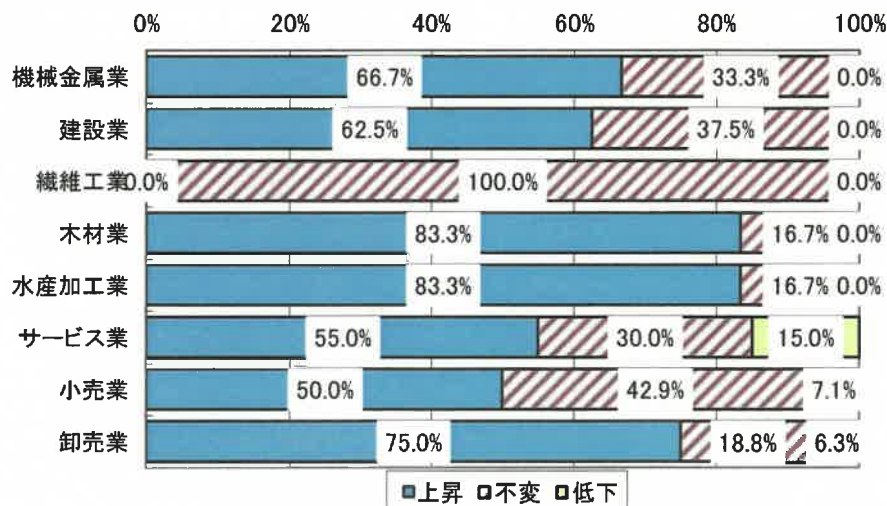
前年同期と比べた今期の材料仕入単価の動向は、全業種で57.3となり、前期の43.0より14.3ポイント悪化した。一方で来期は52.6になる見込み。

業種別に見ると、繊維工業は5期連続で横ばい。一方で、機械金属業、建設業、木材業、水産加工業、サービス業、小売業、卸売業は悪化した。（機械金属業は4期連続、小売業、卸売業は3期連続、建設業、水産加工業は2期連続悪化）



材料仕入単価DI(「上昇」-「低下」)

	実 績 (前年同期比)					来期見通し (前年 同期比)
	令和2年 7月~9月	令和2年 10月~12月	令和3年 1月~3月	令和3年 4月~6月	令和3年 7月~9月	令和3年 10月~12月
全業種	21.3	15.4	24.7	43.0	57.3	52.6
機械金属業	0.0	15.4	23.1	63.6	66.7	60.0
建設業	17.6	20.0	17.6	42.9	62.5	64.7
繊維工業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
木材業	50.0	-16.7	40.0	33.3	83.3	83.3
水産加工業	16.7	40.0	20.0	50.0	83.3	66.7
サービス業	42.9	22.7	39.1	34.8	40.0	33.3
小売業	14.3	14.3	21.4	40.0	42.9	50.0
卸売業	13.3	7.7	15.4	53.3	68.8	46.7

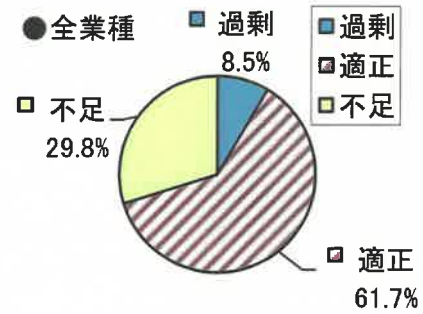




## 【雇用の動向】

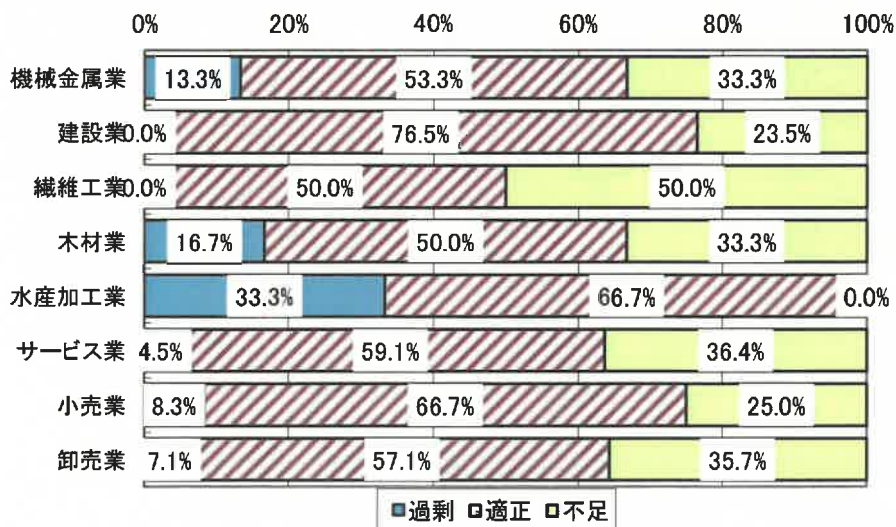
今期の雇用動向は、全業種でマイナス21.3となり、前期のマイナス12.6より8.7ポイント不足が増加した。

業種別にみると、機械金属業、建設業は不足が減少。（建設業は2期連続）。繊維工業、サービス業、小売業、卸売業は不足が増加。水産加工業は過剰が減少。木材業は過剰から不足となった。



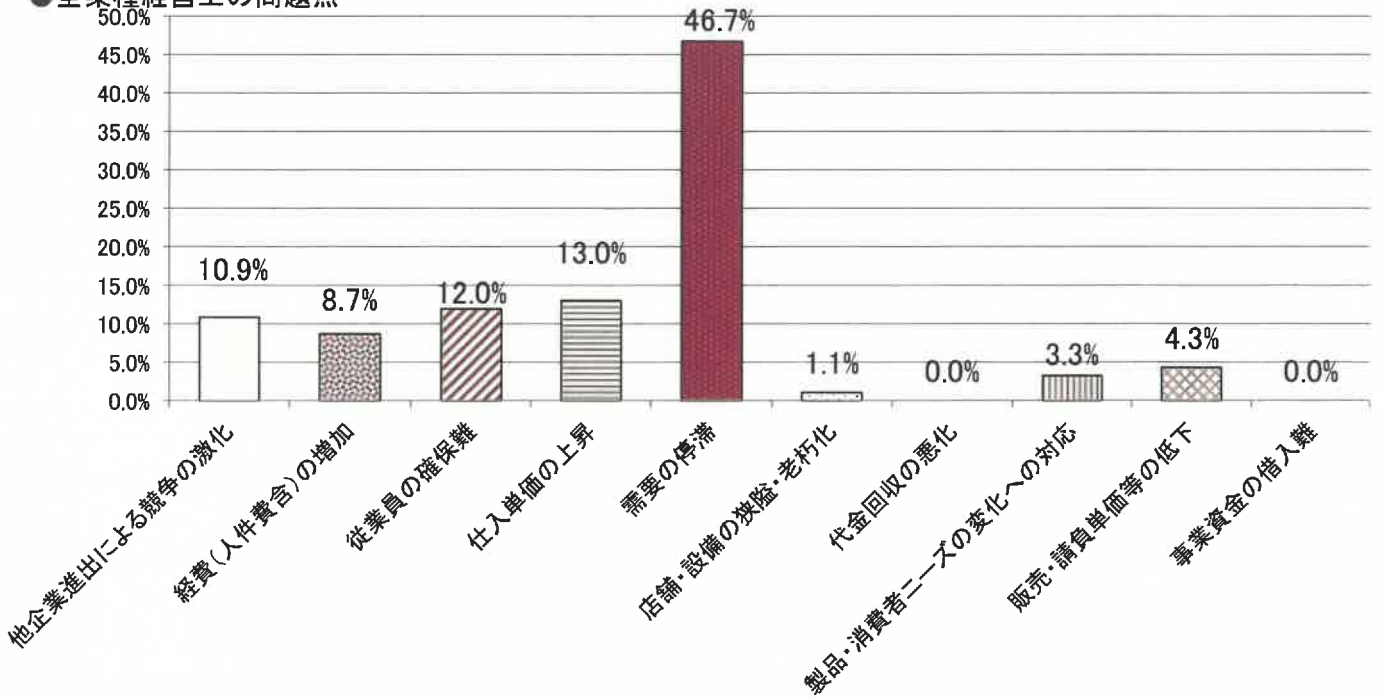
雇用DI(「過剰」-「不足」)

	実績 (今期の水準)				
	令和2年 7月～9月	令和2年 10月～12月	令和3年 1月～3月	令和3年 4月～6月	令和3年 7月～9月
全業種	-6.3	-28.4	-21.7	-12.6	-21.3
機械金属業	-15.4	-25.0	-15.4	-41.7	-20.0
建設業	-23.5	-53.3	-56.3	-25.0	-23.5
繊維工業	0.0	-100.0	-33.3	-33.3	-50.0
木材業	33.3	16.7	20.0	16.7	-16.7
水産加工業	0.0	-40.0	0.0	40.0	33.3
サービス業	0.0	-45.5	-20.8	-8.0	-31.8
小売業	-28.6	-14.3	-7.7	-7.1	-16.7
卸売業	14.3	0.0	-23.1	-14.3	-28.6



【経営上の問題点】

●全業種経営上の問題点



●業種別経営上の問題点

機械金属業	従業員の確保難	35.7%	需要の停滞	28.6%	他企業進出による競争の激化	7.1%
					経費(人件費含)の増加	7.1%
					店舗・設備の狭隘・老朽化	7.1%
					製品・消費者ニーズの変化への対応	7.1%
					販売・請負単価等の低下	7.1%
建設業	需要の停滞	43.8%	他企業進出による競争の激化	18.8%	販売・請負単価等の低下	12.5%
			仕入単価の上昇	18.8%		
繊維工業	需要の停滞	100.0%				
木材業	仕入単価の上昇	66.7%	経費(人件費含)の増加	16.7%		
			需要の停滞	16.7%		
水産加工業	仕入単価の上昇	40.0%	経費(人件費含)の増加	20.0%		
	需要の停滞	40.0%				
サービス業	需要の停滞	45.0%	経費(人件費含)の増加	20.0%	従業員の確保難	15.0%
小売業	需要の停滞	53.9%	他企業進出による競争の激化	23.1%	仕入単価の上昇	15.4%
卸売業	需要の停滞	66.7%	他企業進出による競争の激化	13.3%	経費(人件費含)の増加	6.7%
			従業員の確保難	13.3%		